

広報きたもと

4月
2020 No.986

特集面

きっと、もっと、きたも트가好きになる 旬な話題をお届け!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

北本市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



[特集]

このまちですっと暮らしたいから

SDGs の話をしよう

SDGsは、この子たちの未来を守る
私たちの約束。



昨年9月に開催されたマルシェ「みどりといち」にて撮影

地球で暮らせなく なる!?

私たちの生活は、技術の進歩のおかげで、日々豊かになっています。その一方で、住宅や都市を作るため自然を破壊して土地を開発したり、食料確保のため生き物をむやみにとり続けたりして、地球環境を悪化させています。

下図は、私たち人類の活動が引き起こした問題を表しています。これを見ると、人類が地球環境を悪化させ、地球の持つ食料供給能力を低下させながらも、人類自身が食料の3分の1を廃棄しているという悪循環に陥っていることがわかります。このままだと、私たち人類は地球で今の暮らしを続けることができなくなってしまうといわれています。

こうした危機から脱するためには、地球の環境を壊し、資源を使うだけの社会から、環境を守り、資源を大切に、これからもずっと暮らし続けていける社会に変わっていかなくてはなりません。SD

地球が直面する問題

国際連合広報センターホームページ17の目標ごとの説明、事実と数字を参考に作成

地球環境の悪化

地球温暖化で氷がとけて海面が上昇。陸地が浸食されています。1901年から2010年にかけて、世界の平均海面は19cm上昇しました。

地球で食料を供給する能力の低下

木々を伐採し、工場排水を川や海に流出し、魚や貝などを獲り尽す。こうした行為により、地球が本来持っていた食料を供給する能力がどんどん落ちていきます。

食料の大量廃棄

地球の食料供給能力が低下しているにも関わらず、私たちは年間13億トンの食料(世界全体の食料の3分の1、およそ1兆ドル相当)を廃棄し、腐らせています。

SDGsは自分ごと

Gsはそうした社会を実現するために設定された全世界共通の目標なのです。

「世界の目標」というと遠い話のように感じてしまうかもしれませんが、北本市も世界の「一部。未来の北本市を支える

若い人たちのため、「誰ひとり取り残さない」社会をつくるため、市は企業や団体、そして市民の皆さんとともに、まちづくりを進めていきます。市民の皆さんも、地球のことを自分の住むまちや自分のことに置き換えて、毎日の生活の中で、自分ができることを一緒に考えてみてください。

このままだと...

- ・環境悪化で地球に人が住めなくなる!?
- ・食料が足りなくなる!?



例えばこれも、SDGs

寄附者も、生徒も、みんなが幸せ
楽器寄附ふるさと納税

4 質の高い教育を みんなに	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで 目標を達成しよう



サクスを寄附された
宮内中学校吹奏楽部サクスパートの皆さん

北本市の取組の一つに「楽器寄附ふるさと納税」があります。これは、使われなくなった楽器を市に寄附していただき、楽器不足に悩む中学校の吹奏楽部等で再活用するものです。

寄附者の想いが詰まった楽器は未来ある生徒たちに引き継がれ、再び息を吹き返します。生徒たちには寄附者への感謝の気持ちや物を大切に



このようなマークを見かけたことはありますか? これは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」通称SDGs(エス・ディー・ジーズ)のシンボルです。「持続可能な」とは、「これからもずっと暮らし続けられる」ということ。「ずっと暮らし続ける」ということは、子どもやその次の世代へ未来をつなぐこと。

今回は、SDGsを通して私たちのまち「きたもと」ですっと暮らし続けるヒントを探ります。

世界が目指す 17のゴール

SDGsとは、「誰ひとり取り残さない」を理念に、貧困や飢餓から経済、人権、平和などあらゆる分野に設定された17のゴール(目標)のことをいいます(表紙に掲載した17色のアイコンは、この目標を表しています)。

SDGsは、2015年の国連サミットで、193か国の首脳が参加のもと、誰もが「ずっと暮らし続けられる」社会を実現するため、2030年までに達成する目標として全会一致で採択されました。

現在、世界中で、政府などの行政機関から、民間企業、NGO・NPO団体などのあらゆる人たちが、SDGs達成のために日々活動しています。

北本市でも、このSDGsを取り入れたまちづくりを始めたいと思います。

国際連合
広報センター
ホームページ





地方創生に向けた若者会議

第1日目
 議題「SDGsを通じるへとする21世紀型経営への変革～企業から進出する地域と企業になるために～」
 講師 藤口 真 氏 MS&ADインターリースタッフ株式会社 専任の公民生活課・16創共創プロデューサー

SDGsを通して 北本市の未来を考える

地方創生に向けた若者会議

第1日▶1月23日14:00～16:00
 第2日▶2月19日14:00～16:00

「若者会議」では、全8班が話し合っ北本の理想の未来を創る提案をしています。ぜひ、コチラからご覧ください！



市内企業の
若手経営者・従事者や
北本高校の生徒
が参加

北本市のまちづくりの基本的な考えを示す「第五次北本市総合振興計画後期基本計画」の策定にあたり、市民の意見を聴く機会として、本市で働いたり、学んだりしている若い人たちから、SDGsを通して北本の未来をより良くする提案をいただき、学んだりの検討過程に沿って、皆さんも「北本市の理想の未来」について一緒に考えてみましょう。

3 ②をするために必要な資源を挙げる

ヒト、モノ、お金、技術、場所など、目標達成に必要な思いつく限りの資源を挙げ、それらをどう調達するかを考えました。



- こんな意見が出ました
- 場所→空き家を活用する
- 人材→ボランティアを募集する
- 農地→遊休農地を活用する

あなたの考えを書いてみよう

.....

.....

4 ②をするにあたって直面する課題とその解決方法を考える



- こんな意見が出ました
- 課題 農地所有者の理解が得られないのでは？
- 解決方法 まずは1農地1空き家からスタート！
点在型から徐々に集約型へ

あなたの考えを書いてみよう

.....

まとめ 今回ご紹介したケースは、①②③④の手順で検討を進めていくと、最終的にSDGsの5つのゴールに関連するものとなりました。現在の状況から何ができるかを考えるのではなく、未来のあるべき姿を描いて、それに向けたまちづくりが必要になるのです。

SDGsの考えを取り入れて一緒にまちづくりを進めましょう！

SDGsを達成するには、民間企業のノウハウやさまざまな団体の知識、そして市民の皆さん一人ひとりの行動が不可欠です。今後も北本市のまちづくりやSDGs推進のためにこのようなワークショップなどを実施していきます。まちづくりは、そこに住み、活動する全ての人で進めていくものです。皆さんも「自分ごと」として北本市の将来を考えてみましょう。

1 北本市の「未来のあるべき姿」を考える

SDGsは、現在の課題の解決方法を考えるのではなく、目標となる未来を定めた上で、今何をすべきかを考えるもの。グループごとに北本市の「未来のあるべき姿」（北本市をどのようなまちにしたいか）を設定しました。



こんな意見が出ました

北本市の自然（農地）・住まい・学び（農業）が相互につながっている持続可能なまちにしたい



あなたはどんなまちにしたいですか？書いてみよう

.....

2 ①を実現するための取組（やりたいこと）を考える

会議では「ビジネスの手法を用いる」ことをポイントとして、それぞれが所属する企業や団体のノウハウやスキルを活用した、アイデア出しを行いました。

こんな意見が出ました

北本フォルケ・ホイスコーレ（誰でも入学できる農業を学ぶ全寮制の成人教育機関）を作りたい！



①を実現するため、あなたのしたいことを書いてみよう

ここでは、一過性の取組ではなく、継続できる取組となるように意識して、アイデアを出してみましょう。

.....

SDGs達成のために 今、あなたができること



こんなことから始めてみよう

国際連合広報センターホームページ
SDGsアクション・ガイドより作成

レベル1



ソファに座ったままでできること

- ソーシャルメディアで女性の権利や気候変動について取組を見つけたらネットワークの友達にシェアしよう。
- オンライン上でのおいじめや嫌がらせを見つけたら身近な人に相談しよう。

17 パートナシップで目標を達成しよう



16 平和と公正をすべての人に



ちょっとしたことや、
既にやっていることも、
それ、SDGs!

例えば…

自治会の集まりで、仲間の健康状態を確認したり、イキイキとまちゃん体操をやっています。

3 すべての人に健康と福祉を



私、雑木林の管理・保全活動をしています。

15 陸の豊かさも守ろう



レベル2



家に居てもできること

- 生ゴミを堆肥化しよう。気候への影響を減らすだけでなく、栄養物の再利用にもつながる。
- 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば、埋立地を増やす必要がなくなる。

12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



レベル3



家の外でできること

- 買い物は地元で！地域の企業を支援すれば雇用が守られる。
- 使わないものを寄附しよう。地元の慈善団体は、あなたが大事に使っていたものに新しい命を吹き込んでくれるはず！

8 働きがいも 経済成長も



12 つくる責任 つかう責任



レベル4



職場でできること

- 職場のみんなが医療サービスを受けられているかな？労働者としての権利を知ろう。
- 職場で差別があったら、どんなものであれ声を上げよう。性別や性的指向、身体的能力に関係なく人はみんな平等だから。

8 働きがいも 経済成長も



10 人や国の不平等をなくそう



もっとできる人は
コチラ➡



「若者会議」でSDGsについて講演された原口先生に聞きました

SDGsは、未来の大人たちから選ばれる北本市になるための道しるべ



MS&ADインターリス্ক
総研株式会社
産学官公民金連携・
特命共創プロデューサー
原口 真 さん

国連でSDGsが採択された背景には、現在の社会システムをこのまま延長していくと、世界が持続可能ではなくなるという危機感があります。大人たちは慣れ親しんだやり方を続けた方が気楽ですが、それが子どもたちやその次の世代に負の遺産を残すことになりかねません。例えば、プラスチック製品に囲まれた今の生活もわずかの50年くらいでできたものです。だから持続可能な方向に変えることは可能なのです。世界各地で、2030年の先も見据えた良い変革が始まっています。米国の大企業たちは、2019年に100年間世界経済

をけん引してきた株主至上主義をやめることを宣言しました。格差のない持続可能な社会を求める米国の若者の声に応えたのです。またそうしないと若者から選んでもらえないということを実感しているのです。日本の企業でも若者が来てくれないという声をどこでも聴きます。ではあなた自身も若者から選ばれる、つまり、子どもたちの未来を守るような生活をしているかを考えてみましょう。ヒントは、自然や人権を侵さない「適正なもの」を、使い捨てではなく「適正な量」を、生産者も豊かになる「適正な価格」で消費しているか、です。